



# みんなでできる 地球温暖化防止活動

—「緩和」と「適応」という両輪が大切です!—

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

## ■ $2^{\circ}\text{C}$ 、 $1\cdot5^{\circ}\text{C}$ 、そして $0\cdot85^{\circ}\text{C}$

196の国と地域が2015年12月の第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で決めたパリ協定は、産業革命前に比べて世界の平均気温上昇を $2^{\circ}\text{C}$ 未満、できれば $1\cdot5^{\circ}\text{C}$ に抑えることを目標に掲げています。気温の上昇が地球温暖化をもたらし、気候変動(気候危機)を引き起こすからです。

$0\cdot85^{\circ}\text{C}$ とは、既に上昇してしまった気温のことです。ですので、 $2^{\circ}\text{C}$ 目標の場合でも、すでに $2^{\circ}\text{C}$  $-0\cdot85^{\circ}\text{C} = 1\cdot15^{\circ}\text{C}$ しか「余裕」がないのです。

## ■「緩和」と「適応」

「緩和」とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減と吸収対策を進めて、気候変動の原因を少なくすることです。エネルギーを大切にし、二酸化炭素( $\text{CO}_2$ )を吸収する樹木などを植林することです。

「適応」とは、既に起こり始めている気候変動の影

響に備えることです。例えば、熱中症の防止、災害対策、高温でも育つ農作物の品種開発、感染症の予防などです。

## ■福島県地球温暖化防止活動推進センター

福島県の指定を受け特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク(UNN)が運営する福島県地球温暖化防止活動推進センター(郡山市)は、全県で主に「緩和」に関する活動をしています。もちろん、いろいろな関係機関と連携し、「適応」に関する取り組みも積極的にしています。

啓発・広報活動、情報提供活動、約80人いるうつくしま地球温暖化防止活動推進員の活動サポート、相談業務、講演会・セミナー・ワークショップの企画・開催を行っています。

## ■みんなでできる地球温暖化防止活動

大切なことは、「Think Globally, Act Locally」(地球規模で考え、足元から行動せよ)ということです。センターには、気候変動を学ぶための書籍、資料、DVD、パネルなどが準備されています。講演会・セミナーを町内会、諸団体、学校、企業などが開催する場合、講師を派遣しています。「緩和」「適応」、SDGsの13番目のゴール等に関する質問も受け付けています。お気軽にご連絡下さい。

(連絡先) <http://fukushima-on-dankaboushi.org/>